



撮影:長浜耕樹



みなさん、この方が誰だかご存じですか。
そうです。この方こそ八百津町が生んだ直木賞受賞小説家 池井戸 潤さんです。

池井戸 潤さん「下町ロケット」 直木賞受賞おめでとうございます!!

みなさんは池井戸 潤さんがどのような方か知っていますか？
直木賞。この賞ってどのような賞なのか知っていますか？
今日は、小説家の池井戸 潤さんについて、受賞された直木賞について学んでみましょう。

池井戸 潤さんってどんな人？ 池井戸 潤さんってこんな人!

池井戸 潤(いけいど じゅん)

1963年6月16日久田見生まれ。

岐阜県立加茂高等学校、慶應義塾大学文学部・法学部卒業。

大学卒業後、88年に旧三菱銀行入行。

95年独立し、コンサルタント業の仕事のかたわらビジネス書の執筆活動をする。コンサルタント業等を経て、98年『果つる底なき』(講談社)で第44回 江戸川乱歩賞受賞。

2010年、『鉄の骨』(講談社)で第31回吉川英治文学新人賞を受賞。この『鉄の骨』(NHKにてドラマ化)と『空飛ぶタイヤ』(実業之日本社、WOWOWにてドラマ化)は、直木賞候補にもなる。

2011年、『下町ロケット』(小学館)で第145回直木賞受賞。

同作は同年8月21日よりWOWOW(全5話)にて放映がスタート。

金融・銀行ミステリのほか、骨太の企業小説、コメディタッチの政治小説など、幅広いテーマの小説に挑戦している。

その他

2000年『M1』(講談社)第22回吉川英治文学新人賞候補

2006年『空飛ぶタイヤ』(実業之日本社)第28回吉川英治文学新人賞候補、第136回直木賞候補

2008年『オレたち花のバブル組』(文藝春秋)第22回山本周五郎賞候補

2009年『鉄の骨』(講談社)第31回吉川英治文学新人賞受賞、第142回直木賞候補。